

環境経営レポート

第12期：2020年1月～12月

【目次】

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 環境目標
4. 環境活動の計画及び取組結果と評価
5. 地域社会への取り組みと活動
6. 2020環境活動取組計画
7. 環境関連法規への違反、起訴等の有無
8. 代表者による全体の評価と見直し記録

信濃酒井建設株式会社

作成日：2021年2月27日

改訂日：2021年7月29日

1. 環境方針

< 基本理念 >

信濃酒井建設株式会社は、環境保全の重要性を認識し、建設工事の事業活動において、自然環境の保全、環境負荷の低減及び改善に取り組み、地域社会の環境保全に努めます。

< 行動指針 >

1. 事業活動にあたって、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努める。
2. 環境関連の法規・規則・条例等を遵守し、事業活動を行う。
3. 次の項目を当社の環境目標とし、継続的に取り組む。
 - 1) 事業活動で使用する電力、化石燃料、紙等の使用量の削減に努める。
 - 2) 可能な限り廃棄物の発生を抑制し、減量化に努めるとともに適正な処理を行う。
 - 3) 水の使用量の抑制に努める。
 - 4) 事業活動で使用する建設資材、仮設資材及び事務用品等は、環境に配慮した物品を積極的に使用する。
4. 社員の環境教育を実施し、当社環境方針を周知させるとともに、社外にも公表し環境保全活動への認識の向上に努める。

制定日：2009年11月1日

改訂日：2015年3月1日

改訂日：2021年7月29日



信濃酒井建設株式会社

代表取締役 山崎 徳彦
(前任者 酒井 昭)

2. 組織の概要

1) 事業所及び代表者名

事業所名 : 信濃酒井建設株式会社
代表者名 : 代表取締役 山崎 徳彦 (前任者 酒井 昭)
法人設立年月日 : 昭和38年 5月 31日
資本金 : 2,000万円

2) 所在地

本社 : 長野県長野市篠ノ井山布施8470
七二会営業所 : 長野県長野市七二会乙2644-1

3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 : 常務取締役 小山 正彦
担当者 : 環境事務局 田橋 美香、小池 明弘
連絡先 : TEL : 026-229-2418 FAX : 026-229-2560
HP : <http://www2.plala.or.jp/sinasaka/>
E-mail : sinasaka-koike@amail.plala.or.jp

4) 事業内容

土木一般工事 : 土木工事業、とび、土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、管工事業、解体工事業

産業廃棄物収集運搬業 : 長野県知事許可 許可番号 2008072814

許可年月日 令和2年 9月 27日

許可の有効年月日 令和7年 9月 26日

事業範囲 ・廃プラスチック ・紙くず ・木くず ・繊維くず

・金属くず ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶器くず

(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く)

以上いずれも特別管理廃棄物を除く。

運搬車両 ・2tダンプトラック 2台 ・4tダンプトラック 1台

・3.5tキャブオーバ 1台 ・6.7tキャブオーバ 1台

受託量 556.7t(2019年実績)

227.3t(2020年実績)

5) 事業の規模

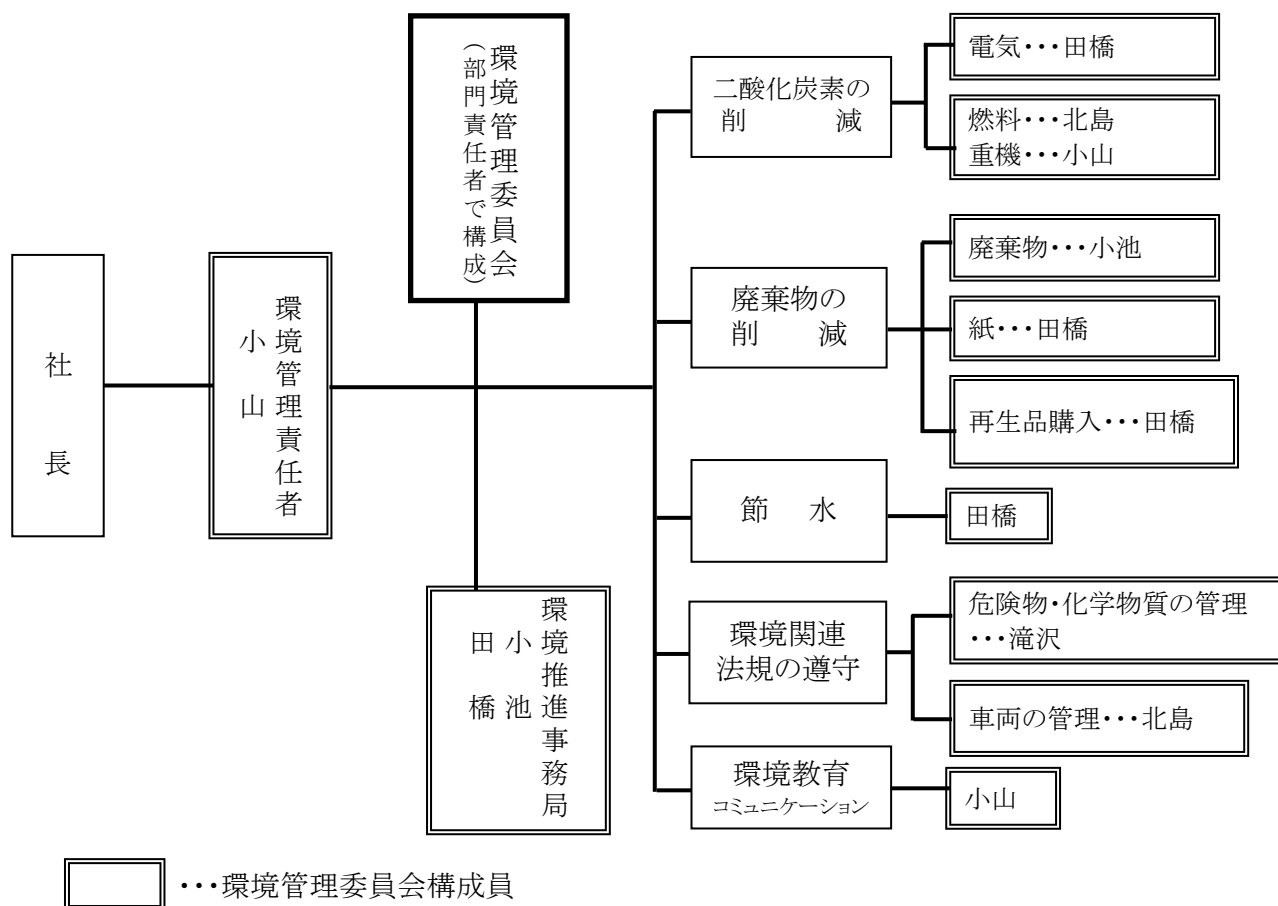
売上高 : 3億 5104万円

従業員数 : 18名

6) エコアクション21の対象範囲

全組織および、全事業を対象とする。

7) 環境マネジメントシステム



8) 環境マネジメントシステムにおける役割・責任

部 門		役 割 ・ 責 任
社 長		環境マネジメントシステムを実施及び管理に不可欠な資源を用意する。資源には、人的資源及び専門的な技能・技術、並びに資金を含む。
環境管理責任者		環境マネジメント業務の総括推進者で、環境マネジメントシステム確立・維持及び経営者への報告に関し、他の責任に関わりなく、責任と権限を有する。 環境マネジメントシステム運用に関し、環境目的・目標の設定、社内外とのコミュニケーション及び環境の教育訓練実施の責任者である。
環境管理委員会		環境マネジメントシステム運営の要として、環境に関する活動の実施内容及び活動計画の運用状況等について協議する。
部門責任者		日常業務遂行及び、環境マネジメントシステム運用における実行責任者である。 各部門の環境目標・活動計画による活動の責任者でその推進を図る。
実行部門	各課	環境マネジメントシステム運用において、環境方針に基づく環境保護活動の実行単位である。
	環境推進事務局	環境マネジメントシステム運営の総括事務を行う。

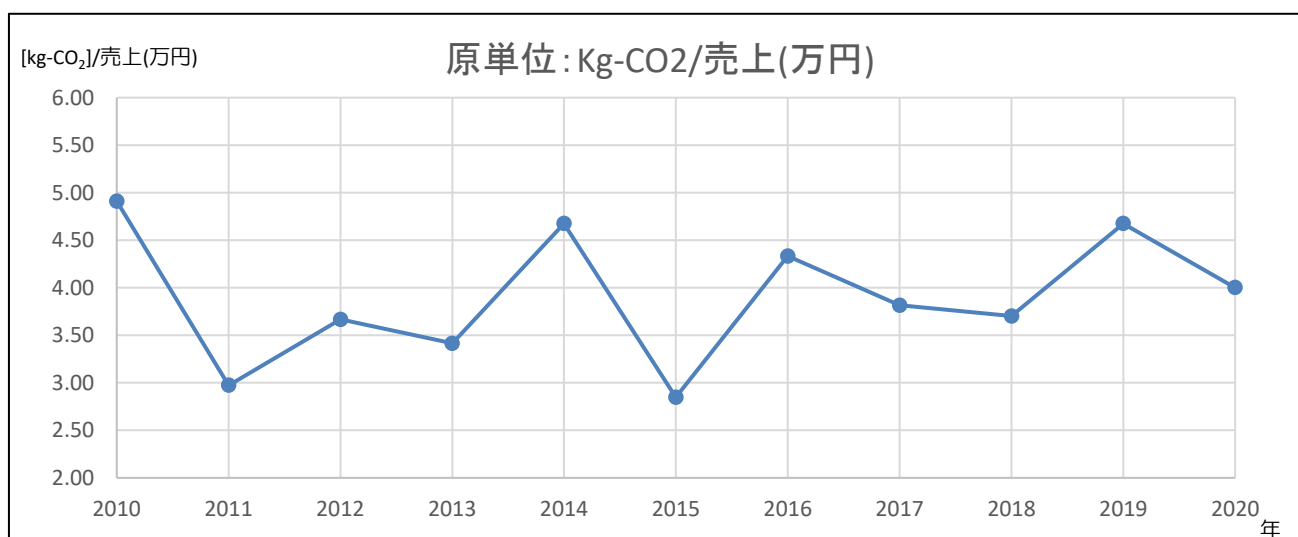
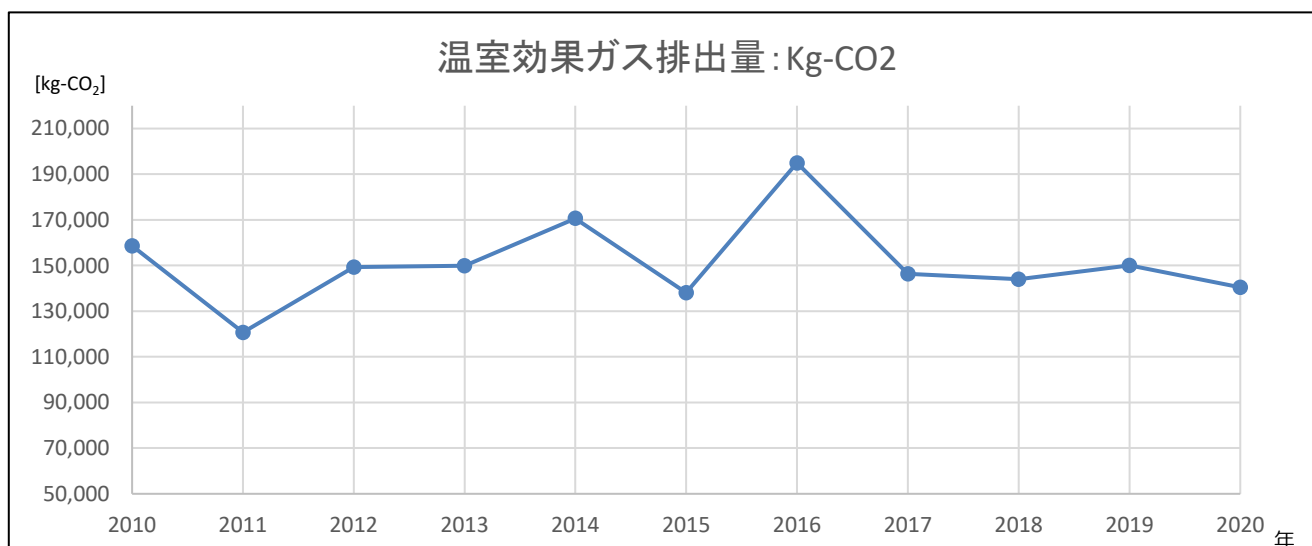
3. 環境目標

3-1.環境目標実績

項目	2020年実績			2019年 目標	2020年 目標	2021年 目標
全体の Co2 排出量	目標値 131,057 kg-CO ₂	実績値 140,478 kg-CO ₂	差引 +9,421 kg-CO ₂	H21、H22平均 (142,375kg-CO ₂) 10%減/年 目標値-128,137kg-CO ₂	2014～2016平均 (145,619kg-CO ₂) 10%減/年 目標値:131,057kg-CO ₂	2014～2016平均 (145,619kg-CO ₂) 10%減/年 目標値:131,057kg-CO ₂
Co2 排出量 の削減	目標値 18,000	実績値 19,212	差引 +1,212 kWh	電気使用総量2018年度 実績を維持する。 目標値18000kWh	電気使用総量2018年度 実績を維持する。 目標値18,000kWh	電気使用総量2018年度 実績を維持する。 目標値180,000kWh
	目標値 40,000 リットル	実績値 39,523	差引 -477 リットル	軽油使用総量2018年度 実績を維持する。目標値 40000リットル	軽油使用総量2018年度 実績を維持する。目標値 40000リットル	軽油使用総量2018年度 実績を維持する。目標値 40000リットル
	目標値 10,000 リットル	実績値 10,698 リットル	差引 698 リットル	ガソリン使用総量2018年 度実績を維持する。目標 値13800リットル	ガソリン使用総量2019年 度実績を維持する。目標 値10,000リットル	ガソリン使用総量2019年 度実績を維持する。目標 値10,000リットル
廃棄物 排出量 の削減	/			産業廃棄物の分別を徹 底し、適正処理する	産業廃棄物の分別を徹 底し、適正処理する	産業廃棄物の分別を徹 底し、適正処理する
	目標値 180 kg	実績値 184 kg	差引 4 kg	一般廃棄物 紙使用総 量2018年度実績を維持 する。目標値180kg	一般廃棄物 紙使用総 量2018年度実績を維持 する。目標値180kg	一般廃棄物 紙使用総 量2018年度実績を維持 する。目標値180kg
	/			グリーン購入を推進する	グリーン購入を推進する	グリーン購入を推進する
節 水	目標値 480 リットル	実績値 433 リットル	差引 -47 リットル	水の使用量総量2018年 度実績を維持する。目標 値480m3	水の使用量総量2018年 度実績を維持する。目標 値480m3	水の使用量総量2018年 度実績を維持する。目標 値480m3
公害防止 ・環境関連 法規 の遵守	/			発注者の要求事項に対 応するとともに、緊急時の 訓練を行う	発注者の要求事項に対 応するとともに、緊急時の 訓練を行う	発注者の要求事項に対 応するとともに、緊急時の 訓練を行う
	/			危険物・化学物質の管理 見直しと緊急時の訓練	危険物・化学物質の管理 見直しと緊急時の訓練	危険物・化学物質の管理 見直しと緊急時の訓練
現場での 取り組み	/			環境への意識を高める	創意工夫を以って、自然 環境の保全に努める。 ※環境配慮型の機械の 使用、現場に適した使用 材料の選定 等。	創意工夫を以って、自然 環境の保全に努める。 ※環境配慮型の機械の 使用、現場に適した使用 材料の選定 等。

3-2. 環境への負荷の取りまとめ表

※2018年度からは、2016年度中部電力実排出係数0.485kg-CO₂/kWhを3年間採用する。



年度	売上		温室効果ガス排出量		
	(万円)	前年比	[kg-CO ₂]	原単位	前年比
2010	32,300	-	158,636	4.91	-
2011	40,600	25.7%	120,726	2.97	-39.5%
2012	40,700	0.2%	149,282	3.67	23.3%
2013	43,900	7.9%	149,912	3.41	-6.9%
2014	36,500	-16.9%	170,636	4.67	36.9%
2015	48,500	32.9%	138,139	2.85	-39.1%
2016	44,997	-7.2%	194,955	4.33	52.1%
2017	38,366	-14.7%	146,387	3.82	-11.9%
2018	38,906	1.4%	144,037	3.70	-3.0%
2019	32,092	-17.5%	150,032	4.68	26.3%
2020	35,104	9.4%	140,478	4.00	-14.4%

4. 環境活動計画と具体的施策

1. 電気使用量の削減

- ・使用電力量の調査と記録
- ・不要な照明の消灯、昼休み時間の消灯
- ・エアコンの温度設定 夏27℃ 冬23℃
- ・暖房時のエアコン使用を抑制

重点項目 ・本社内の老朽化したエアコンと暖房設備の取替を順次行う。

2. 車両の燃料使用量の低減

- ・給油記録(運転日報)の記録と集計
- ・エコドライブの実施

重点項目 ・乗合により、不必要な車両の使用を減らす。
・始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。

3. 重機燃料使用量の削減

- ・現場毎の給油量の記録と集計
- ・アイドリング時間の短縮
- ・始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。(他人まかせにしない)

重点項目 ・適正回転での作業の教育と実施
・作業内容にあった機械・機種を選定

4. 紙使用量の削減

- ・紙使用量の集計
- ・裏紙の活用
- ・パソコン画面上での印刷前の確認を徹底して、不用意な印刷を減らす。

重点項目 ・プロッター使用前にA3で印刷を行い、内容確認の上、プロッターを使用する。

5. 水道使用量の削減

- ・水道使用量の集計
- ・節水の啓発表示

重点項目 ・節水器具への取替を順次行う。

6. 廃棄物の分別の徹底

- ・廃棄物置き場の確定と表示
- ・一般廃棄物の計量と記録
- ・廃棄物の分別と適正処分

重点項目 ・現場内での、日々の分別保管管理を徹底する。

7. 危険物・化学物質の管理の徹底

- ・緊急事態の対応訓練の実施と記録
- ・環境関連法規の遵守状況チェック

重点項目 ・使用する場合は、安全データシート(SDS)をメーカーから取り寄せ、内容を把握して管理・使用する。

8. 再生品使用品目の調査と使用率の向上

- ・再生品使用の把握と周知

重点項目 ・(本社)グリーン購入対象事務用品を、購入前に確認し積極的に購入する。
・(現場)NETIS登録の資機材を、積極的に導入する。

9. 公害防止のための工夫と意識の向上

- ・車両・機械の自主点検・定期点検の計画と実施

重点項目 ・里山の自然環境をまもる為の動植物の勉強を行う。

4.環境活動の計画及び取組結果と評価

承認	作成
環境管理責任者	事務局

様式:

【 2020 年 】

更新日: 2021年 2月 25日

環境方針	目標	取組手段	対象	担当者	計画・実績	取組手段の実績成果評価(◎、○、△、×)												考察					
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
						1月-3月				4月-6月				7月-9月					10月-12月				
CO2排出量の削減	電力使用量の削減 基準年度2018年使用総量に維持する 目標値 18,000kWh	1. 昼食時及び不使用部屋消灯 2. パソコン省エネモード設定 3. 夏季エアコン27℃ 4. 冬季エアコン23℃ 5. 暖房時にエアコンを使用しない 6. 長寿命電球の使用	全社	田橋	目標	(月別) 2,800	2,500	2,000	1,550	1,250	1,000	950	1,200	1,000	900	1,250	1,600	1	◎	◎	◎	○	
					(累計) 2,800	5,300	7,300	8,850	10,100	11,100	12,050	13,250	14,250	15,150	16,400	18,000	2	-	-	◎	-		
					実績	(月別) 2,689	2,359	2,145	1,928	1,380	851	977	1,277	1,212	1,009	1,592	1,793	3	-	-	△	-	
					(累計) 2,689	5,048	7,193	9,121	10,501	11,352	12,329	13,606	14,818	15,827	17,419	19,212	4	△	-	-	△		
					評価	月別	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	5	○	-	-	○
					累計	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6	○	○	○	○	
CO2排出量の削減	軽油使用量の削減 基準年度2018年使用総量に維持する 目標値 40,000リットル	1. 現場毎の給油量の記録 2. 適期のオイル交換とメンテナンス 3. アイドリングストップ 4. 適正回転での作業 5. 作業内容にあった機械の選定	全社	北島	目標	(月別) 2,800	4,500	4,000	3,500	4,200	4,900	3,000	2,400	1,600	1,600	3,500	4,000	1	◎	◎	○	◎	
					(累計) 2,800	7,300	11,300	14,800	19,000	23,900	26,900	29,300	30,900	32,500	36,000	40,000	2	◎	◎	◎	○		
					実績	(月別) 2,228	4,562	4,980	4,726	2,525	1,676	1,998	1,524	2,899	2,714	4,024	5,666	3	○	△	△	○	
					(累計) 2,228	6,790	11,770	16,496	19,021	20,697	22,695	24,219	27,118	29,832	33,856	39,522	4	○	○	○	○		
					評価	月別	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	5	◎	◎	◎	○	
					累計	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	6						
CO2排出量の削減	ガソリン消費量の削減 基準年度2019年使用総量に維持する 目標値 10,000リットル	1. 運転日報の記載 2. 急発進・急加速の禁止 3. アイドリングストップ 4. エアコンの適正使用 5. 経済的運行経路の検討	全社	北島	目標	(月別) 800	800	800	800	800	800	900	900	800	900	800	900	1	◎	◎	◎	○	
					(累計) 800	1,600	2,400	3,200	4,000	4,800	5,700	6,600	7,400	8,300	9,100	10,000	2	◎	◎	◎	◎		
					実績	(月別) 396	508	626	697	823	871	643	497	710	769	882	1,063	3	○	△	○	○	
					(累計) 396	904	1,530	2,227	3,050	3,921	4,564	5,061	5,771	6,540	7,422	8,485	4	○	○	○	○		
					評価	月別	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	5	○	○	○	×
					累計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6						
廃棄物の削減	産業廃棄物 分別と処分	1. 保管場所の確定と表示 2. 計量と記録 3. 手順書の遵守	全社	小池	目標	(月別)											1	◎	○	○	◎		
					(累計)													2	◎	○	○	◎	
					実績	(月別)													3	○	○	○	○
	一般廃棄物 紙使用量の削減 基準年度2018年使用総量に維持する 目標値 180kg	1. コピー用紙の裏面使用 2. 印刷コストの安いプリント 3. 紙使用量の集計	全社	田橋	目標	(月別)		55			10			50		65		1	○	○	○	○	
					(累計)		55			65			115		180		2	○	○	○	○		
					実績	(月別)		0			40			52		92		3	◎	◎	◎	◎	
グリーン購入の推進	1. 従業員に周知する 2. グリーン購入品の記録	全社	田橋	目標	(月別)												1	○	○	○	○		
				(累計)													2	△	◎	○	○		
				実績	(月別)													3					
節水	水使用量の削減 基準年度2018年使用総量に維持する 目標値 480m3	1. 節水の啓発表示 2. 上水道の節水	全社	田橋	目標	(月別)	80		100		100		75		60		65		1	○	○	○	○
					(累計)	80		180		280		355		415		480		2	○	○	○	○	
					実績	(月別)	57		82		83		65		75		71		3	○	○	○	○
					(累計)	57		139		222		287		362		433		4					
					評価	月別	○	○	○		○		○		○		○		5				
					累計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6							
公害防止・環境関連法規の遵守	重機・車両の自主点検・定期点検の実施	1. 重機・車両の自主点検・定期点検の実施 2. 点検記録の保管	全社	小山	目標	(月別)											1	○	○	○	○		
					(累計)												2	○	○	○	○		
					実績	(月別)												3					
	危険物・化学物質の管理見直しと緊急時の訓練	1. 発注者要求事項の実施と記録 2. 緊急事態の訓練の実施と記録 3. 環境関連法規の遵守状況確認 4. 協力会社への周知徹底	全社	滝沢	目標	(月別)												1	○	○	○	○	
					(累計)												2	○	○	○	○		
					実績	(月別)												3	○	○	○	○	
現場での取り組み	1. 現場目標を決め、掲示する。 2. 安全訓練時に目標を周知する。 3. 安全パトロール時に状況を確認する。 ※環境配慮型の機械の使用、現場に適した使用材料の選定等。	全社	小池	目標	(月別)												1	○	○	○	○		
				(累計)												2	○	○	○	○			
				実績	(月別)												3	○	○	○	○		
					評価	月別											4						
					累計												5						
																6							

5. 地域社会への取り組みと活動

内容	活動頻度等
・ 地域ボランティア活動	1回以上/各現場
・ ニワウルシ撲滅活動	3か月程度/年
・ 冬季除雪・排雪・塩カル散布作業	降雪・積雪期
・ 会社周辺美化活動	通年

(ニワウルシ撤去前)



(ニワウルシ撤去後)



(ニワウルシ撤去状況)



6. 2021年 取組計画

1. 電気使用量の削減

- ・使用電力量の調査と記録
- ・不要な照明の消灯、昼休み時間の消灯
- ・エアコンの温度設定 夏27℃ 冬23℃
- ・暖房時のエアコン使用を抑制

重点項目 ・本社内の老朽化したエアコンと暖房設備の取替を順次行う。

2. 車両の燃料使用量の低減

- ・給油記録(運転日報)の記録と集計
- ・エコドライブの実施

重点項目 ・乗合により、不必要な車両の使用を減らす。
・始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。

3. 重機燃料使用量の削減

- ・現場毎の給油量の記録と集計
- ・アイドリング時間の短縮

重点項目 ・始業前点検による不具合の発見と確実な報告及び整備を実施する。(他人まかせにしない)
・適正回転での作業の教育と実施
・作業内容にあった機械・機種を選定

4. 紙使用量の削減

- ・紙使用量の集計
- ・裏紙の活用
- ・パソコン画面上での印刷前の確認を徹底して、不用意な印刷を減らす。

重点項目 ・プロッター使用前にA3で印刷を行い、内容確認の上、プロッターを使用する。

5. 水道使用量の削減

重点項目 ・水道使用量の集計と周知
・節水の啓発表示
・節水器具への取替を順次行う。

6. 廃棄物の分別の徹底

- ・廃棄物置き場の確定と表示
- ・一般廃棄物の計量と記録
- ・廃棄物の分別と適正処分

重点項目 ・現場内での、日々の分別保管管理を徹底する。

7. 危険物・化学物質の管理の徹底

- ・緊急事態の対応訓練の実施と記録
- ・環境関連法規の遵守状況チェック

重点項目 ・使用する場合は、安全データシート(SDS)をメーカーから取り寄せ、内容を把握して管理、使用する。

8. 再生品使用品目の調査と使用率の向上

- ・再生品使用の把握と周知

重点項目 ・本社)グリーン購入対象事務用品を、購入前に確認し積極的に購入する。
・現場)NETIS登録の資機材を、積極的に導入する。

9. 公害防止のための工夫と意識の向上

- ・車両・機械の自主点検・定期点検の計画と実施

重点項目 ・里山の自然環境をまもる為の動植物の勉強を行う。

7. 環境関連法規への違反、起訴等の有無

1) 環境関連法規

下記のとおり、環境管理責任者が中心となり、環境関連法規及び条例等の遵守を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘も、過去10年間はありません。

No.	法令等の名称	適用される要求事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	・産業廃棄物収集運搬業者、処分業者との契約	遵 法
		・産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付と保存	遵 法
		・産業廃棄物管理票交付状況報告 (産業廃棄物収集運搬業)	遵 法
		・産業廃棄物収集運搬業の許可	遵 法
		・産業廃棄物排出業者との契約 (委託契約書、マニフェストの保存)	遵 法
		・産業廃棄物の運搬実績報告書の提出	遵 法
2	騒音規制法 (長野市公害防止条例)	・特定建設作業実施の届出 区域別基準 期間の規制 時間帯別基準 曜日の規制	遵 法
3	振動規制法 (長野市公害防止条例)	・特定建設作業実施の届出 区域別基準 期間の規制 時間帯別基準 曜日の規制	期間中 該当なし
4	水質汚濁防止法	・特定建設作業実施の届出	期間中 該当なし
5	大気汚染防止法 ダイオキシン類対策特別措置法	・産廃物焼却炉の設置(火床面積0.5㎡以上又は 焼却能力50kg./h以上の場合届出)	期間中 該当なし
		・特定粉じん(アスベスト)排出等作業	期間中 該当なし
6	消防法	・少量危険物の貯蔵又は取扱いの届出	遵 法
7	資源の有効な利用の促進に 関する法律	・再生資源利用計画書の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
		・再生資源利用促進計画の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
8	建設工事に係る資源の再資源 化等に関する法律 (建設リサイクル法)	・対象建設工事の説明及び告知	遵 法
		・再資源化の報告	遵 法
9	廃棄物の適正な処理の確保に 関する条例(長野県・長野市)	・産業廃棄物の減量等に関する計画書の作成 及び実施状況報告	遵 法
10	長野県公共事業等環境配慮推 進要綱	・工事毎に環境配慮指示があった場合に対応 ・環境全般に対し環境配慮の努力義務	期間中 該当なし

8. 代表者による全体の評価と見直し

- 定期見直し（事業年度終了後）
- 臨時見直し

作成日： 2021年2月27日

- ・ 毎年取り組んでいる目標に向き合う意識に向上心が見られず、仕事に甘んじている所が見られるので、年2回会社全体で達成状況の報告と半期の再目標を確認し今年以上に成果が上がるように取組みをする。

1. 無駄のない行動によるCO₂の削減
2. アイドリングやアクセルの無駄ふかしへの気配り運転

変更有り；目標値の見直し

『環境管理責任者・担当者への提言』

※上記を踏まえ、環境管理責任者・担当で、目標達成課題を月毎に見直し、全従業員に活動報告を義務付け、この取組の重要性を促す事。